

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	4単位
科目コード 300500	科目名 アイテム演習 帽子	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原由美	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 各部の名称、形と素材の種類、頭蓋型や採寸方法など帽子の一般知識を習得し、素材の特徴に合ったデザインの発想、トリミング(装飾)など、全体のバランスを考える。  
 ブレード、夏物帽体、冬物帽体、コットン芯など帽子専門の材料の特徴を理解し、木型や専門道具を使用して制作。  
 基礎作図・基礎作図からの展開方法、仮縫い、縫製方法、生地や芯の扱い方を理解し布帛の帽子を制作。

コマ	内容	コマ	内容
1	オリエンテーション	16	仮縫い、裁断・縫製
2	帽子の基礎縫い	17	
3	ブレード帽子(基礎巻き)	18	
4	夏物帽体帽子の制作	19	仕上げ・提出
5		20	冬物帽体(フェルト帽体)帽子の制作
6	仕上げ・提出	21	
7	ベレー基礎作図	22	
8	布帛ベレーの制作	23	仕上げ・提出
9		24	カクテルハットの制作
10		25	
11	仕上げ・提出	26	
12	クロッシェ基礎作図(クラウン)	27	
13	(プリム)	28	
14	布帛クロッシェの制作	29	仕上げ・提出
15	仮縫い		

評価方法・対象・比重  
 テーマ別作品評価・期末試験：出欠・授業姿勢  
 8：2

主要教材図書 ファッション工芸講座 帽子

参考図書 The HAT magazine

その他資料

記載者氏名 菅原 由美

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14301	科名	ファッショングッズ基礎科	1年	単位	4単位
科目コード	300600	科目名	アイテム演習	ジュエリー	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 大工原 睦	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ ジュエリー・アクセサリ商品の基礎知識の習得。
- ・ ジュエリー制作における金属素材の扱いと基礎的技法の習得。
- ・ ジュエリー制作における用具の扱い方を制作実習にて習得する。
- ・ ジュエリー・アクセサリ商品取り扱い店舗（高級店舗、低価格店舗、繁盛店舗、注目店舗）における市場調査による商品研究。

## 【授業計画】

1. 工具、器機についての説明 1コマ
  - ・ 工具の説明
  - ・ 工具の使用法、持ち方、姿勢について
2. 使用素材についての説明 1コマ
  - ・ 銀について
  - ・ ワックスについて
  - ・ 指輪について
3. ストワックスによる指輪の制作
  - ・ チューブワックスの扱い方、ヤスリ方、仕上げ方、銀の磨き、仕上げ方、リング商品論
  - ① 月型甲丸 4 × 2コマ
  - ② 自由デザイン 5 × 2コマ
  - ③ リングの研磨 2 × 2コマ
4. 夏期休暇課題
 

ショッピングリサーチ 繁盛店舗、注目店舗のリサーチ、比較
5. 平打ちリングの制作、すり出しリングへの展開 ◎「ヤスリ」の扱いをマスターする  
 銀の扱いについて、金属の加工法
  - ・ バーナーによる作業
  - ・ 銀のヤスリ方、仕上げ法
  - ① 平打ちリング 2 × 2コマ
  - ② すり出しリング 4 × 2コマ
6. 切りまわし『透かし』の技法によるアクセサリーの制作 5 × 2コマ  
 (ペンダント、ブローチ、ブレスレット) ◎糸ノコの扱いをマスターする  
 糸ノコ作業による各種金属素材の違いを学習  
 アルミニウム板、銅板、真鍮板 → 各素材の扱いについて ・ 各素材の結合方法 → リベット、カシメ
7. 銀によるネームプレートの制作 6 × 2コマ
  - ・ 銀による切りまわし及び、ロウ付け方法の習得、バチカン等の制作法、ペンダント、ネックレス商品論
8. ジュエリーに関する商品知識ほか
9. 講評会 2コマ

## 【評価方法】

S~C・F評価 学業評価 80%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

記載者氏名 大工原 睦

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科 1年	単 位	4単位
科目コード 300700	科目名 アイテムデザイン演習 バッグ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 青木 克江	共同担当者：
-----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バッグの基礎知識と製作技術の習得</li> <li>・ 皮革素材の基礎技法の習得</li> </ul>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>●<u>バッグ基礎知識</u> 【2コマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間授業内容、製作物説明、用具の説明、バッグの機能・構造について講義</li> </ul> <p>●<u>曲げマチバッグの製作</u> 【14コマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎型出し 曲げまち</li> <li>・ 製作 (デザイン、型出し、型紙、裁断、縫製、仕上げ)</li> </ul> <p>●<u>基礎縫い制作</u> 【10コマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックル、ナスカン付きショルダーベルト ・カシメ、ハトメ、ホック付きブレスレット</li> <li>・ ファスナー付きポーチ ・ファスナーポケット部分縫い</li> </ul> <p>●<u>レポート</u> 【夏期休暇課題】</p> <p>バッグを販売しているショップをリサーチし、レポート提出</p> <p>●<u>ファスナー付き革の縫い返しバッグの製作</u> 【30コマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン、機能、構造について講義</li> <li>・ 基礎型出し (横まち・通しまち・小判底)</li> <li>・ 基礎縫い (革の扱い方、裁断、革すき)</li> <li>・ 製作 (デザイン、型出し、型紙、裁断、革すき、縫製、仕上げ、発表)</li> </ul>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S～C・F評価</p> <p>評価基準：学業評価80% (提出物50、試験30) 授業姿勢20%</p>
---

<p>主要教材図書</p> <p>文化ファッション大系ファッション工芸講座③バッグ</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p> <p>青木 克江</p>
----------------------------

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	4単位
科目コード 300800	科目名 アイテムデザイン演習 シューズ	授業期間	通年

担当教員(代表) : 田中 美登里	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>概要(教育目標・レベル設定など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本デザイン(モカシン・パンプス)の制作及び設計技術の基礎を習得する。</li> <li>用具、製靴用機械の取扱い方法を実習にて習得する</li> <li>履物の起源及び歴史、靴の構造、足の構造の概論を学ぶ</li> </ul>
---

<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>靴の歴史について(教科書・資料を用いての講義) <ul style="list-style-type: none"> <li>エジプト時代～現代までの歴史</li> <li>日本の靴作りの歴史について</li> </ul> </li> <li>靴の一般知識(教科書・資料を用いての講義) <ul style="list-style-type: none"> <li>靴の構造と各部の名称</li> <li>製法と特徴について</li> </ul> </li> <li>足について(教科書・資料を用いての講義) <ul style="list-style-type: none"> <li>足型計測により各自の足のサイズを知る</li> <li>足の構造・病気について</li> </ul> </li> <li>基礎技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>工具作り(皮革用包丁の研ぎ方、扱い方等)</li> <li>ミシンの扱い方と調整方法、手入れ方法</li> <li>皮革の手漉き加工方法 等</li> </ul> </li> <li>モカシン制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>各自のサイズで既存のパターンを使用し各自アレンジを加えてオリジナルデザインの作品を制作</li> <li>裁断、製甲、底つけ(圧着機・グラインダー等の工作機械を使用)の作業を実習</li> </ul> </li> <li>パンプス制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のパターンを使用し各自アレンジを加えてオリジナルデザインの作品を制作</li> <li>裁断、製甲、釣り込み、底つけ(圧着機・グラインダー等の工作機械を使用)の作業を実習の作業を実習</li> </ul> </li> </ol>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p style="text-align: center;">学業評価・年度末試験 80% ・ 授業姿勢 20%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p style="text-align: center;">ファッション工芸講座2 シューズ</p>
---

<p>参考図書 なし</p>
----------------

<p>その他資料 パターンサンプル、アッパーサンプルなど</p>
----------------------------------

<p>記載者書名欄 田中美登里</p>
---------------------

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	2単位
科目コード 950010	科目名 自由研究 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。

通常授業以外の制作をすることによる、各個人のレベルアップ。

## 【授業計画】

### 1、ブランド研究

長期休暇時の課題として、各自好きなブランドの企業について調べ、研究し、レポート提出。

### 2、バザー作品制作

文化祭バザー作品のグループ制作。

### 3、各種コンテスト参加

ザッカコンペティション、学内コンテストなど。

### 4、美術館、博物館見学

見学、感想レポート提出。

## 【評価方法】

履修認定 (P表示)

評価基準：学業姿勢・出欠状況を元に履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 青木 克江

# 2018年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード 14301	科目名 ファッショングッズ基礎科 1年	単 位	2単位
科目コード 305010	科目名 ハディクラフト I	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。  
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。  
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。  
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業概要

\*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作

\*布の加工

- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習
- ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習  
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

\*レース

- ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習

\*応用作品 オリジナルの図案をデザインし、それに合った材料や技法の選び方の総合学習

\*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する

評価方法・対象・比重  
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション講座 工芸2 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

記載者氏名

## 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14301	科名	ファッショングッズ基礎科	1年	単 位	2単位
科目コード	500500	科目名	造形演習		授業期間	通年

担当教員(代表)：北川 陽史	共同担当者：
----------------	--------

**教育目標・レベル設定など**  
 ファッショングッズの各専門分野において必要とされる造形感覚、審美眼の育成と造形・デザインの展開とその方法論の享受を教育目標とする。一般的な造形・デザインに対しての基本的理解と造形能力を高めるために重要な理論的解釈、また、造形言語と呼ばれる表現要素の認識とその利用方法の理解と探求を通じ、独自の表現に昇華する事を目標とする。

**授業概要**＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

授業は造形作品の制作実習(主に平面上での表現)を中心に展開される。  
 各項目(テーマ)に対し前提講義を行い、造形理論と制作の方法論を解説する。  
 制作実習、作品講評を通して造形に対する基本的な理解と展開方法の具体例を解説・アドバイスすることで、学生個々の造形感覚の拡張を目指す。

1	概論 (講義)	造形を主体とした発想とその展開について視覚心理的見解(錯視)も含め解説(1コマ)
2	イメージ構成	イメージを形態と構成によって単純な造形として平画面に落とし込む。 画面内に「動感」を形成。モノクロ平面構成による構成力の育成(3コマ)
3	偶発性と造形要素抽出	様々な描画技法(デカルコマニー、フロッタージュ等)を用い、 偶発的に生まれる効果を画面構成の要素として採取し編集する。 各種画材、アクリル(黒のみ)と各種用紙(4コマ)
4	立体の平面的表現	等角図による立体物の形態把握と立方を想定した構成演習。 等角図的思考の体験と立体的彩色方法の把握。平面構成(4コマ)
5	光とその表現	物質と光の関係性を理解し、デザイン表現を行う。 「光」を多角的に捉え、表現する。平面構成等(3コマ)
6	表層のデザイン	触覚チャートの作成を行う。 素材の理解と、その表層に現れる質感の理解。(4コマ)
7	平面の立体的表現	平面上における空間感覚の理解。 レリーフの作成、及び色彩表現。(4コマ)
8	有機的形態	塑像的な立体の把握と有機的形態の理解 石粉粘土を用いた立体造形演習(4コマ)

**評価方法・対象・比重**  
 S～C・F評価  
 評価基準：学業評価60%、授業姿勢40%

制作実習における成果物を評価基準の対象のひとつとする。基礎造形の理解度と表現性を評価の基準とし、それに加え、独創性、独自の表現に通じる可能性の感じられるものを高く評価する。  
 制作実習時の姿勢は勿論、出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	Visual design (平面・色彩・立体構成) 1 (改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会／六耀社
その他資料	特になし
記載者書名欄	北川 陽史



# 2018度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14301	科名	ファッショングッズ基礎科1年	単位	2単位
科目コード	501800	科目名	色彩論・演習	授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

**教育目標・レベル設定など**  
 ファッション分野のクリエイションで色彩を活用することを想定し、基本的な配色方法を中心に色彩の基礎を学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 導入 色について		〈講義 1コマ〉
2. 色の三属性	色の三属性(色相・明度・彩度) 等色相面/色立体 Hue & Tone システム	〈講義および演習 6コマ〉
3. 配色の基礎	色相を基準とした配色 トーンを基準とした配色 無彩色の配色/柄の配色	〈講義 6コマ〉
4. 色彩心理	色彩の感情効果/連想/イメージ 色の見え 対比現象/同化現象 膨張性/進出性	〈講義および演習 5コマ〉
5. 色彩理論	光、眼と色 三原色と混色	〈講義 3コマ〉
6. ファッションカラーコーディネート	配色(色彩構成)の考え方 ベースカラー/アソートカラー/アクセントカラー/セパレーションカラー ファッションカラーコーディネート トーン・オン・トーン/フォ・カマイユ/トーン・イン・トーン/トータル	〈講義および演習 4コマ〉
7. 配色の展開	・絵画の配色分析と配色への展開 ・色相の移調/トーンの移調	〈講義および演習 5コマ〉

**評価方法・対象・比重**  
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

**主要教材図書**  
 『ファッション色彩I』(文化出版局)

**参考図書** 特になし

**その他資料** Color Chart、ベーシックカラー140

**記載者書名欄** 天野豊久

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2単位
科目コード 500210	科目名 デッサン I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 一倉 伸夫	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】  
 静物デッサン・石膏デッサン等を通して物当然の原理・性質を理解し、描写力を養うことによって創造力の基礎とする。

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	基本的な形の理解と画面構成方法	16	生活用品での形の理解と画面構成
2	基本的な形の理解と画面構成方法	17	異なる質感のもの比較と理解
3	基本的な形の理解と画面構成方法	18	異なる質感のもの比較と理解
4	基本的な形の理解と画面構成方法	19	異なる質感のもの比較と理解
5	基本的な形の理解と画面構成方法	20	異なる質感のもの比較と理解
6	基本的な形の理解と画面構成方法	21	異なる質感のもの比較と理解
7	基本的な形の理解と画面構成方法	22	異なる質感のもの比較と理解
8	基本的な形の理解と画面構成方法	23	異なる質感のもの比較と理解
9	基本的な形の理解と画面構成方法	24	異なる質感のもの比較と理解
10	生活用品での形の理解と画面構成	25	異なる質感のもの比較と理解
11	生活用品での形の理解と画面構成	26	異なる質感のもの比較と理解
12	生活用品での形の理解と画面構成	27	手の描写による生命観の理解
13	生活用品での形の理解と画面構成	28	手の描写による生命観の理解
14	生活用品での形の理解と画面構成	29	
15	生活用品での形の理解と画面構成	30	

【評価方法】 制作物の評価 30% 試験の評価 20% 出欠の評価 50%

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	2単位
科目コード 500800	科目名 ファッションデザイン画	授業期間	通年

担当教員(代表)：玉川あかね	共同担当者：
----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 人体プロポーションと体の動きを理解した上で、ファッショングッズの表現に活用できる人体ポーズ、着装表現、グッズの基本的な技法を習得する。  
 授業後期から水彩絵の具によるテクニック(素材表現)を習得し、各自のデザインワークにつなげる。

I・人体のプロポーション/8頭身(正面・側面)の描き方	<2コマ>
II・ヌードポーズ/身体の動き、流れを理解する。(支脚・遊脚の関係の理解) *ベーシックポーズ(正面、斜め) *手・足・顔の描き方	<2コマ>
III・ポーズと着装/着装表現のプロセスを学ぶ。(ヌードポーズ—服のフォルム—構造、デザイン) *ベーシックドレス、シャツ、スカート、パンツ、スーツなど	<4コマ>
IV・ファッショングッズ/基本的な立体の描き方(立方体、円柱、円錐,...) 基本的な立体からファッショングッズへ展開	<3コマ>
V・アウトライン/ドローイング線の描き方(グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆) 下絵から画用紙へのトレース方法	<1コマ>
VI・混色表の作成/水彩絵の具の特徴を知る。三原色の混色など	<1コマ>
VII・彩色練習/基本的な水彩技法の習得。筆の使い方など	<2コマ>
VIII・素材表現/水彩技法のいろいろ *薄地素材、厚地素材 *プリント柄、織柄など	<5コマ>
IX・ファッショングッズのコーディネート表現/創作デザインと表現力の強化。 *校内ファッション画展にむけての作品制作	<5コマ>
X・早描き練/短時間に描き上げるコツをつかむ。	<2コマ>

評価方法・対象・比重 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%
--

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画
参考図書
その他資料

記載者氏名 玉川あかね

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	1単位
科目コード 504010	科目名 グラフィックワーク I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など  
 Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- Photoshop の基本操作 : 講義・実習 4コマ
  - ①移動ツールの使い方
  - ②ブラシツールの使い方
  - ③レイヤーマスクを使った切り抜き
  - ④画像合成
- 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 3コマ
  - ①画像の収集
  - ②切り抜き・画像合成
  - ③文字入力
- Illustrator 基本操作 : 講義・実習 3コマ
  - ①基本図形の描き方
  - ②色の設定方法
  - ③整列・画像の配置
  - ④クリッピングマスク
  - ⑤スウォッチ・ブラシ
- デザインマップの作成 : 講義・実習 4コマ
  - ①テーマの設定
  - ②画像の切り抜き
  - ③レイアウトデザイン

評価方法・対象・比重  
 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書  
 プリント

参考図書

その他資料 使用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018

記載者書名欄 飯塚 有葉

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	2単位
科目コード 001500	科目名 服飾造形	授業期間	前期

担当教員(代表) : 杉山 美和	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

服飾造形としての一般知識、原型の理解、縫製の基礎を理解させる。

シャツ・ブラウスの衣服制作をとおして衣服構造を理解し、ファッショングッズとのコーディネートも関連させ指導する。  
服飾造形の基礎、シャツ・ブラウスの基礎知識、縫製

## 前期2単位

### 1. 服飾造形の基礎 … 4コマ

- ・ 服飾造形概説 変遷、衣服について、衣服製作のプロセス ・衣服制作のための用具 服飾造形で使用用具の説明
- ・ 縫合の基礎 手縫い、ミシン・ロックミシン縫い ・下着の重要性 ・シルエット写真撮影
- ・ 採寸 衣服製作のための人体計測
- ・ 文化式婦人原型(9AR)の作図法 1/4及び実物作図、男子原型の説明

※部分縫い 基礎縫い、ファスナーあき(片返し、コンシール)など

### 2. シャツ・ブラウス(前期) ……22コマ

- ・ 一般知識 語源、歴史、分類、名称、素材、デザイン解説
- ・ 作図 1/4作図…基本型シャツカラーのブラウス(セットインスリーブ)、シャツ・ブラウス(シャツスリーブ) 各デザインの作図解説 各自実物作図またはドレーピング型出し
- ・ パターンメイキング 縫い代なし、縫い代つき、仮縫いについて
- ・ 裁断 自由素材、各裁断方法、付属布裁断(芯など)
- ・ 縫合 基本縫合解説、各自デザイン別縫合解説
- ・ クリエイティブ・シャツ・ブラウス

着装、発表会、レポート提出

## 評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価＝平常成績(授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価)など

授業姿勢＝出席状況、授業内提出状況 など

## 主要教材図書

参考図書 ・文化ファッション大系 服飾造形講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」

その他資料 実物資料

記載者氏名 杉山 美和

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	1単位
科目コード 400300	科目名 服装解剖学	授業期間	半期(後期)

担当教員(代表): 足立美智子	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 人体の形態や構造を解剖学的に認識させ、人体を機能的で美的に表現できるファッショングッズ造りを目的とする。  
 全身のプロポーションを理解し、ファッショングッズ製作に生かすための計測法の説明を行い、機能面からデザイン発想まで結びつけられるように学習させる。

コマ	内容	コマ	内容
1	オリエンテーション(講義内容の説明)	16	
2	人体の構成(人体の骨格)	17	
3	人体の構成(頭部と帽子)	18	
4	人体の構成(頭部と帽子)	19	
5	人体の構成(脊柱と胸郭)	20	
6	人体の構成(上肢帯と自由上肢骨)	21	
7	人体の構成(自由上肢骨)	22	
8	人体の構成(手骨・下肢帯)	23	
9	人体の構成(下肢帯・自由下肢骨)	24	
10	人体の構成(足部とシューズ)	25	
11	人体の構成(乳房・経年変化・人種差)	26	
12	人体の外観とファッショングッズ(人体のプロポーション)	27	
13	人体の計測(シューズデザイン発想のための計測)	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重  
 ノート提出・出欠状況…50%、確認テスト…25%、骨と原型についてのプリント…25%

主要教材図書 服装解剖学ノート(文化出版局)
参考図書 頭骨の文化史(フォルケ・ヘンシェン著 鈴木誠・高橋譲訳 築地書館)
その他資料 なし

記載者氏名 足立美智子

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14301	科名	ファッショングッズ基礎科 1年	単位	1単位
科目コード	202000	科目名	素材論	授業期間	半期（前期）

担当教員(代表)：志村 純子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 アパレルおよびファッショングッズに使用される素材について、繊維・糸・布・仕上げ加工などを主に学び、これらの知識を他教科やさらに将来の職業に生かせるよう基礎知識を充実させてゆくことを目的とする。

1. アパレルと素材	講義	1コマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレルに使用される素材</li> <li>・テキスタイルやアパレル業界について</li> </ul>		
2. 繊維	講義・実験	8コマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維とは</li> <li>・繊維の分類</li> <li>・繊維の鑑別</li> <li>・繊維各論 天然繊維：綿、麻、毛、絹の品種、生産国、性質など 化学繊維：再生繊維、半合成繊維、合成繊維の種類、性質など</li> </ul>		
3. 糸	講義・演習	2コマ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・糸とは</li> <li>・紡績糸とフィラメント糸と製造</li> <li>・糸の構造、太さ</li> <li>・その他の糸：加工糸、複合糸、飾り糸など</li> </ul>		
4. 布	講義・演習・ビデオ視聴	3コマ
4-1 織物		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・布地の分類（種類）</li> <li>・織物の製造、規格</li> <li>・織物の主な組織と特徴、生地</li> </ul>		
4-2 ニット（編物）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニットの性質、分類</li> <li>・ニットの主な組織と生地</li> </ul>		
		計 14コマ

評価方法・対象・比重  
 学業評価（テスト・提出物）80%、授業姿勢（出席・提出状況・受講態度）20%の割合で評価

主要教材図書  
 ファッション体系「アパレル素材論」文化服装学院編、 「テキスタイル・ファブリック」

参考図書

その他資料

記載者氏名 志村 純子

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	1単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	(後期)

担当教員(代表) : 増田大助	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションビジネスに必要とされるファッションビジネスの特性から、変遷、現状、産業構造、業態、職種、流通、マーケティング、マーチャンダイジング、計数、販売にいたる基礎知識を学ぶ。

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1、ファッションビジネス              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッションとは</li> <li>・流行と発生要因</li> <li>・ソフト化経済とファッション化社会</li> <li>・ファッションビジネスの輪郭</li> </ul> |
| 2、ファッション消費の変遷             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後の変遷(50年代~70年代)</li> <li>・戦後の変遷(80年代~90年代)</li> <li>・現在</li> </ul>                      |
| 3、ファッション流通                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファッション流通機構</li> <li>・ファッション関連産業</li> </ul>   |
| 4、アパレル産業                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アパレル卸商の種類</li> <li>・アパレル企業の仕事のプロセス</li> <li>・アパレル卸商の取引慣行</li> </ul>                      |
| 5、アパレル小売産業                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小売業の社会的、経済的役割</li> <li>・アパレル小売業の業態特性</li> <li>・ファッション販売</li> <li>・ショップに関わる計数</li> </ul>  |
| 6、ファッション産業界における21世紀に向けた課題 |  |

評価方法・対象・比重

総合評価 : 出席率50%+プリントノート50%

主要教材図書 プリントノート

参考図書

その他資料

記載者氏名 増田大助



# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	1単位
科目コード 004800	科目名 クリエイション演習	授業期間	1年間(14コマ)

担当教員(代表): 加瀬浩嗣	共同担当者:
-------------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
デザインの基本を踏まえながら、学生の創造力・発想力を豊かにしていく。年間を通して平面～立体～空間と、考える領域を変化させて授業を展開していく。個人作業とグループワークを織り交ぜ、現代社会での重要性が増しているコミュニケーション能力も鍛えていく。

- 1 デザインの発想方法
- 2 描写の発想方法
- 3 色彩の表現方法
- 4 混色の作業
- 5 構成のバランスを学び、実践で鍛える
- 6 前期講評会
- 7 プレゼンテーションというもの～Presentation1
- 8 アーティストを知る、人に伝える
- 9 リ・デザインをする～先入観を取り払い、新たに作品を構築する
- 10 作品講評会
- 11 たまごを想像する「WHAT'S EGG」
- 12 作成した作品を各自プレゼンする
- 13 BOXの中身を想像する「BOX/BOX」
- 14 後期総合講評会～まとめ～

## 評価方法・対象・比重

評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

授業によって個人やグループワーク、授業時間内で仕上げる作品を基本に考えている。

そして各々の作品発表ができる講評会を設けてる。

主要教材図書 なし

参考図書 課題ごとに持参する

その他資料 プリント資料を配布

記載者氏名 加瀬浩嗣

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単位	1単位
科目コード 904510	科目名 キャリア開発Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 青木 克江	共同担当者：
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など)

新入生の時点から就職を意識させ、次年度から始まる就職活動に向けた準備を整える。  
将来の進路を決定する大事な学生生活をどのように過ごすかの意識付けとする。

(全編特別講義形式)

- ・仕事とは 6コマ：講義・実習  
仕事をすることとは？
- ・カメラワーク 4コマ：講義・実習  
作品集制作のための写真の撮り方の基礎
- ・作品集制作の心構え 2コマ：講義・実習  
作品集制作に向けての準備と心構え
- ・ファッション業界とは 1コマ：講義  
ファッション業界の仕組みと業種、その仕事について
- ・ファッショングッズデザイナーについて 1コマ：講義  
デザイナーの現状から見る、学生時代にすべきこと

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)

評価基準：学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 青木 克江

# 2018度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	1単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など  
 専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通し、幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける

- ・ VMDについて 5コマ : 講義・実習・講評会  
 ファッショングッズ商品のプレゼンテーション方法
- ・ 流行色解説 1コマ : 講義  
 流行色について、流れ
- ・ 身体表現 2コマ : 講義・実習  
 自己表現と他者理解
- ・ デザイナーの仕事について 1コマ : 講義  
 クリエーターになるための心構え
- ・ ファッショングッズの重要性について 1コマ : 講義  
 デザイナーによるグッズの重要性について講義
- ・ コレクション情報 1コマ : 講義  
 ファッションの動向と最新コレクションの解説
- ・ 心理学 2コマ : 講義  
 コミュニケーション能力開発
- ・ 皮革について 2コマ : 講義  
 皮革の種類や革が出来上がるまで

評価方法・対象・比重  
 履修認定 (P表示)  
 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書 なし  
 参考図書 なし  
 その他資料 なし

記載者書名欄 青木 克江

# 2018度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 14301	科名 ファッショングッズ基礎科1年	単 位	1単位
科目コード 930010	科目名 校外研修 I	授業期間	前期(集中)

担当教員(代表): 青木 克江	共同担当者:
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

都会生活から離れた「自然の中」における野外活動、体育活動ほか諸活動など団体生活の体験を通じ、指導力や協調の精神を養い、個人相互、クラス間の親睦を深めることを目的とする。

規律を強調がいかに人間関係に潤いを与え、楽しい物であるかを知り、一人一人が規律正しい健康的な団体生活を送れるよう心がけ、相互理解を深める。

コミュニケーションキャンプ 文化北竜館(2泊3日)  
5クラス合同実施(高度専門士科1・2組、グローバルビジネスデザイン科、ファッションテキスタイル科)

- ・ 1日目
  - オリエンテーション
  - コミュニケーションプログラムB
- ・ 2日目
  - スコアオリエンテーリング
  - 野外炊飯
  - コミュニケーションプログラムA
  - 自由体育
  - キャンプファイヤー
- ・ 3日目
  - 世界の民俗人形博物館見学
  - 須坂版画美術館見学
  - 善光寺散策

評価方法・対象・比重  
履修認定(P表示)  
評価基準: 学業姿勢・出欠状況を元に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 青木 克江